

冬を乗り越え桜と花粉が舞い散る春の陽気の中、松阪消防にも大きな変化が起きました。

平成27年度最初の幹部会議において水井消防長が「代休制度を廃止します。」とおっしゃられた、と所属長から職員に知らされました。非常に回りくどい報告ですが、悲しいかな管理職以上の会員が少ない松消協は、水井消防長のお言葉を直接聞く事は出来ませんでした。しかし今までの松阪消防にはなかったこのお言葉は、所属長の口を通じて多くの職員の心に刻まれました。

平成25年6月15日の松消協結成以来、色々な勉強を行い職場環境の改善を求めてきました。特にこの代休処理は、他の消防本部でも見られない問題のため力を入れてきました。しかし、なかなか結果はついてこず「春は来ないのかな」と弱気になった事もありましたが、2度の冬を乗り越え、ついに春がやってきました。

今回、松消協は消防職員委員会という法律で定められた方法に力を尽くしました。勉強を行い、意見書を作成し、委員となった会員は慣習に縛られず勉強した意見を述べました。この代休処理は消防職員委員会で①「実施する事が妥当である」、消防長審議で③「諸課題を検討する」となり、今回このような処置をしていただきました。

ついに代休廃止！

ようやく松消協の訴え実る。

また他の課題についても、昨年度の消防職員委員会は、特殊勤務手当の支給について、消防長審議「②実施に向けて検討」、火災対応時の非番招集について、消防長審議「②実施に向けて検討」となっており、今後は良い方向へと進んでいくと思いい、松消協でも尽力していく所存です。

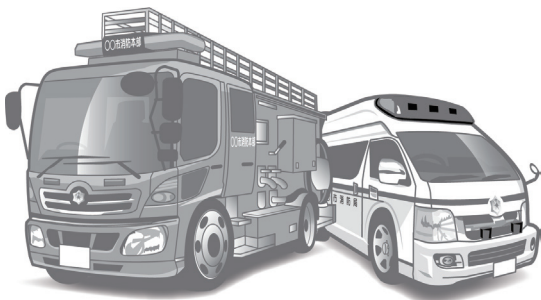
松消協結成前夜、「何をしても変わらないよ。」という声職場で多く聞かれました。しかし、水井消防長は皆さんの声を聞いてくださいました。これからも、自ら勉強を行い、意見を述べ、話し合いをし、地域住民により良いサービスを提供できる松阪消防を、みなさんで作っていきましょう。そして松消協は、会員皆さんの思いが形となるよう全力で頑張っていきます！

免許がお得に?!

「大型免許とらなきゃなあ〜」
「でも教習所って結構高いよね」

そんな声、たくさん聞きます！でも現状では、松阪消防から免許取得に対する補助は出ません。そこで皆さんに朗報です。協議会が提携している教習所であれば、お得に免許取得が出来るのです！津市博多町（津新町駅西）にある「津ドライビングスクール」こちらでの大型免許取得は、表を見ても分かるように、市内教習所価格よりもおよそ4〜6万円程お安くなっています。もちろん協議会員限定です。ぜひぶんど得ですよ。入校を希望される方は、協議会で取りまとめて申し込みをするだけ！ぜひ周りの皆さんと誘い合ってください！

免許取得をお考えの方、この制度を活用しない手はないですね。ぜひ、一度役員までご連絡をください。



大型免許

所持免許	中型	MT 中型 (8t) 旧普通免許	AT 中型 (8t) 旧普通免許	MT 新普通免許	AT 新普通免許
管内最安値校	200,975 円	254,430 円	310,919 円	357,886 円	なし
津ドライビングスクール	154,490 円	207,970 円	242,940 円	305,690 円	341,690 円
差額	46,485 円	46,460 円	67,979 円	52,196 円	

中型免許

所持免許	MT 中型 (8t) 旧普通免許	AT 中型 (8t) 旧普通免許	MT 新普通免許	AT 新普通免許
管内最安値校	73,543 円	110,695 円	194,495 円	231,647 円
津ドライビングスクール	61,710 円	89,480 円	137,000 円	164,770 円
差額	11,833 円	21,215 円	57,495 円	66,877 円

(松消協調べ)

今話題の

リックリットとは?!

みなさん日頃から火災や救助事案に対応するためホース延長訓練や救助者の救出訓練など行なっていると思います。ではこんな訓練はどうでしょう。例えば消火活動中に自身フラッシュオーバーに巻き込まれたり、仲間が煙を吸ってしまい濃煙室内で倒れてしまったり・・・自分自身はどのように救助を待てばいいのでしょうか。仲間を助けるためにはどのように救助を行えばいいのでしょうか。どうすれば二次災害に巻き込まれなかったのでしょうか。

そこでみなさん、「火災対応救助」や「RIC」(リックリット)といった言葉を最近よく耳にすることと思います。

◎火災対応救助とは?

火災現場活動中の隊員が危機的状況に陥った場合、各隊員個人の対応方法や、バディが負傷したときの救助方法、そして他の部隊が行う救助活動をしめすものであり「セルフサバイバル」「チームサバイバル」「チームレスキュー」で構成されます。これらの構成要素となる知識や技術は主に次に述べるアメリカ「IC」などが参考にされています。

火災現場活動中の消防職員が危機的状況に陥らないようにするとともに、消防職員が危機的状況に陥った場合における「火災対応救助」を学ぶことで、二次災害を軽減し殉職事故を防止することにつながればと考えます。

◎RIC/IT ヲ使っ

「Rapid Intervention Crew/Team Training」の略で【緊急介入隊員/チーム・トレーニング】と訳されますが、【FIRE FIGHTER SURVIVAL(生き残るための方法)】と理解したほうがわかりやすいかもしれません。主に火災現場等において自力脱出が困難になった時、いかに生き残り救助してもらうか、いかに救助するかを体系化したものです。

しかしこれらの技術は危険な環境に入り、救出及び脱出を行なうため、安全配慮の観点から逸脱する部分があります。そのため安全に対する考え方や認識が間違っって伝わることを防ぐ必要があります。特に知識・経験の浅い隊員さんの場合。最近ではWeb上にたくさんこのような技術の動画がありますが、映像を見ただけの見よう見まねで行うことが一番危険です。

あくまでも「IC」の技術は手法ではなく手段です。「IC」の技術を使わない現場が基本であり、必要となる現場は緊急時だということをお忘れないようにしましょう。

先日メールでもご連絡させていただいたように、今現在、「IC」の講習会を、松消協にて計画しております。平成27年6月20日(土)、21日(日)の二日間、兵庫県にて座学、実技を含めた内容で実施予定です。定員は6名12名で、たくさん希望者があった場合は、厳正なる抽選を行います。松消協からも補助を出させていただく予定ですので、個人の負担は一人3万円程度かと思われまます。申し込みの締め切りは6月初旬となっております。

ですので、日程とお小遣いと相談の上、教養部までご連絡ください。

皆さんで参加し、皆さんで勉強し、皆さんで共有し、正しい技術と知識を獲得していきましょう。



有志による退職者送別会開催

平成27年3月26日、有志による退職者送別会が松阪市宮町の「Sole」で行なわれました。

これは松阪消防を退職される協議会会員を対象に、企画・執り行われたものであり、今回の退職者である須賀菜也さんは残念ながら欠席でしたが、豊田晃秀さんと大西秀明さんに出席していただきました。また、豊田さんと大西さんにゆかりのある、津消防の方々も参加していただきました。有志であるにもかかわらず、当日はたくさんの方の会員に参加していただき、大いに盛り上がりお二人を見送ることが出来ました。参加していただいた方々、ご協力ありがとうございました。



退職された豊田晃秀さんと大西秀明さん

広報部・メール担当からの連絡
皆さんいつもご協力ありがとうございました。4月のメールは、
◎自治労訴訟保険の説明会について
◎4月分娩等の学習会について
◎代休廃止の決定について
◎公務中の事故に対する寄付について
◎リックリット講習会について
◎ホームページ開設について
◎訴訟保険申し込みについて
を、送らせていただきました。
メールを受信していない、やメールアドレスが変わった等の場合は、広報部までご連絡ください。皆さんにきちんと情報をお送りできるよう、これからも努力して参ります。よろしくお願ひ致します。
※合わせてホームページもご覧ください。

